

# 平成16年度 和歌山県文化賞

さわ かず き  
澤 和 樹

住 所：東京都日野市  
出 身 地：和歌山県和歌山市  
生 年：昭和30年

## ◎業績及び経歴

4歳よりヴァイオリンを始め、昭和44年、第23回全日本学生音楽コンクール・ヴァイオリン部門中学生の部全国第1位など、幼少の頃より才能を発揮する。

昭和48年、東京藝術大学に入学。昭和52年にはロン・ティボー、ヴェニアフスキの両国際コンクールに相次いで入賞、また特別賞のイザイメダルを授与されるなど、ヴァイオリニストとして国際的に注目される。昭和54年、同大学院修士課程を修了。

昭和55年、文化庁芸術家派遣在外研修員としてロンドンに留学。昭和57年にはロンドンのウィグモアホールにてデビューリサイタルを開催し、絶賛される。昭和58年、ミュンヘン国際コンクール、二重奏部門でピアニストの蓼沼恵美子とともに第3位入賞。

昭和59年、東京藝術大学に専任講師として迎えられとともに本格的な演奏活動を開始。平成元年には、文部省在外研究員としてロンドンの王立音楽院に派遣される。この時期、アマデウス弦楽四重奏団との出会いによりSAWA QUARTETの結成を決意する。

平成12年には、SAWA QUARTET結成10周年記念「ベートーヴェン：弦楽四重奏曲全曲チクルス」を国内5都市で展開し、高く評価される。フィンランドのクフモ、アメリカのボウドイン、英国の湖水地方、アイルランドのウェスト・コーク、清里、八ヶ岳高原、霧島、長野、なら国際音楽アカデミーなど国内外の音楽祭に招聘される他、日

本音楽コンクール、日本室内楽コンクール、フォーバル・ストラディバリウスコンクール、ティボー・ヴァルガ国際コンクール、ウラルスク国際コンクール等の審査員を歴任している。

氏は、日本を代表するヴァイオリニストの一人として国内外で活躍するとともに、県内においても、スクールコンサートや各地の演奏会など幅広く活動され、本県の文化振興に大きく寄与されている。

## ■現在

東京藝術大学音楽学部助教授  
英国王立音楽院名誉会員  
紀尾井シンフォニエッタ・東京リーダー  
SAWA QUARTETおよび東京弦楽合奏団主宰  
千里フィルハーモニア・大阪 常任指揮者  
響ホール室内合奏団ミュージック・アドヴァイザー  
日本シマノフスキ協会理事

## ■主な表彰歴等

昭和51年 安宅賞  
昭和54年 ボルドー音楽祭金賞  
昭和57年 和歌山市文化奨励賞  
昭和62年 和歌山県文化奨励賞  
平成12年 和歌山市文化賞